



A Bridge to the Future



森澤恭子 〈 かけ橋通信 〉 2025年12月号

誰もが生きがいを感じ、自分らしく暮らしていける ウェルビーイングな社会へ

こども分野

中学生の制服・修学旅行の無償化、給付型奨学金創設、「小1の壁」解消のための朝の居場所 など

高齢者分野

終活支援サービスを無償化、認知症検診の対象を70歳以上に拡大、認知症高齢者のGPS端末利用無償化、75歳以上に飲料水配布による熱中症見守り など

障がい者分野

障がい児通所支援等利用料を無償化、「18歳の壁」対策のための生活介護延長受入れ運営費助成 など

訪問介護報酬緊急支援

(国が介護報酬を改定するまでの臨時措置)

人々の幸福(しあわせ)のため人間が自分らしく暮らしていくうえで不可欠な、生活の基礎となる行政サービスを所得制限なく提供していく

〈 すべての人が権利としてアクセスできる社会保障システム 〉

「自己責任」が強く求められる社会から脱却し、あらゆる人が助け合う「分かち合い、満たしあい」のある、やさしく寛容な社会
「弱者を救う」のではなく「弱者を生まない」ウェルビーイングな社会へ

(参照:慶応義塾大学経済学部井手栄策教授提唱「ベーシックサービス」)

9月11日に発生した大雨浸水被害への対応

区内で1200件以上の床上・床下浸水が発生。
ゴミ収集と消毒作業を迅速に実施し、見舞金を支給。
加えて、止水板設置について助成を拡充。



ぜひご利用
ください!



先が見通しづらく時代の変化が早い中で、引き続き
区民のみなさんの様々な声やニーズに迅速に応えられる
区民のための区政でありたいと思います。

森澤恭子

戦後80年。 広島・長崎を訪問

核兵器の廃絶は、イデオロギーや政党間同士の対立の 이슈、右か左か、などという話でなく、広島そして長崎の原爆による多くの罪のない犠牲者の無念や、今もなお苦しみ続ける被爆者の切実で非常に重い訴えを背に、唯一の被爆国として必ず成し遂げなくてはならないミッションだと強く感じました。



宮古市を訪問

震災後、総勢65人の職員を派遣。津波の爪痕残る「たろう観光ホテル」などの現場で当時を知るガイドの方からお話を伺いました。やはり最後は「人々の意識が大事」、それを伝えるのが生き残った私の役割、と涙を浮かべながら語ってくださったのが印象的でした。過去の震災の教訓にしっかりと学び、防災・減災につとめていきます。



〔坂井市〕連携都市への訪問で交流を深化

〔大阪関西万博〕ウーマンズバビリオンで登壇

〔東京2025デフリンピック〕品川区内ではハンマー投げ

森沢きょうこ後援会 個人献金のお願い



入力フォーム▲

森沢きょうこの政治活動を支えるために個人献金を募っております。是非ともお力添えいただけますようよろしくお願いいたします。

みずほ銀行 五反田支店
普通口座 4233221
森沢きょうこ後援会

プロ向け執筆
プラットフォーム

the Letter

「森沢恭子の地方自治の現場から」



登録は▲

ニュースレター「森沢恭子の地方自治の現場から」を配信開始。



森沢恭子事務所

〒140-0014 品川区大井1丁目11-6 寺崎ビル5階

Tel 03-6303-8303 Fax 03-6303-8304

Mail info@kyokomorisaawa.jp



日々
更新中!